

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和4年度 要求額 (千円)	令和4年度 最終査定額 (千円)	頁
総務部	学務課	幼稚園管理運営事業(学務課)	14,013	14,013	1
総務部	学務課	特別支援学校管理運営事業(学務課)	197,366	197,366	3
総務部	学務課	小学校管理運営事業(学務課)	4,319	4,319	5
教職員人事部	教職員企画課 教職員人事課	学校教育活動支援事業	375,775	375,775	7
学校教育部	学校総務課	夢をはぐくむ高校教育推進事業	10,438	10,438	9
学校教育部	学校指導課	学校図書館教育推進事業	95,227	95,227	11
学校教育部	学校指導課	社会的実践力向上推進事業	82,527	82,527	13
学校教育部	学校指導課	教育研究推進事業	12,270	12,270	15
学校教育部	学校指導課	堺版コミュニティ・スクール推進事業	1,623	1,623	17
学校教育部	学校指導課	豊かな心の育成事業	1,668	1,668	19
学校教育部	学校指導課	小中一貫教育充実事業	3,698	3,698	21
学校教育部	学校指導課 生徒指導課	教育活動支援事業	9,827	9,827	23
学校教育部 教育センター	学校指導課 能力開発課	幼児教育充実事業	11,225	11,225	25
学校教育部	支援教育課	特別支援教育環境整備事業	504,296	489,787	27
学校教育部	生徒指導課	体力向上・部活動推進事業	105,943	105,943	29
学校教育部	生徒指導課	子どもの安全安心対策事業	12,371	12,371	31
学校教育部	人権教育課	堺市教育コミュニティづくり推進事業	446	446	33
学校教育部	人権教育課	多文化共生推進事業	20,573	20,573	35
学校教育部	人権教育課	人権教育推進事業	4,388	4,388	37
学校教育部	人権教育課	人権学習推進事業	3,305	2,370	39
教育センター	企画相談課	適応指導教室	42,886	42,886	41

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	幼稚園管理運営事業 (学務課)	事業番号
担当部署名	教育委員会事務	学務
	局	部
	総務	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実	
		有	取組の方向性	②多様で質の高い教育・保育サービスの提供				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2	
		有	取組	安全安心で質の高い幼児教育・保育の提供、小学校教育との連携				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画						
3	事業開始年度	平成 5 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■みはら大地幼稚園に通園する園児 (139人)					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■みはら大地幼稚園に通園する園児の通園時の安全確保と負担軽減。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	■送迎バス3台の運行とメンテナンス業務を、民間業者に委託して実施している。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■委託業者					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標	遠距離通園の通園手段の確保					
	当該目標を設定した理由	みはら大地幼稚園に通園する園児の通園時の安全確保と負担軽減のため。					
	目標に対する実績	遠距離通園の通園手段の確保ができている					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度		
12	送迎バスの運行により安全に通園できた園児数	人	目標値 148	133	139		
			実績値 148	133			
			達成率 100%	100%			
	当該指標を選定した理由	みはら大地幼稚園に安全に通園するために、美原区域内で希望する全ての園児の送迎が必要なため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	通園を希望する園児数					

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	幼稚園管理運営事業（学務課）	事業番号	038-011
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	11,657	12,579	12,675	12,675	14,013
13 財 源 内 訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)	5,257	4,110	3,146	3,657	3,327
	一般財源	6,400	8,469	9,529	9,018	10,686

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14 事 業 費 内 訳	幼稚園車両管理業務（枠内）	R3	予算	12,675	9,018		R3	予算		
		R4	予算	14,008	10,681		R4	予算		
	研修会等参加負担金（枠）	R3	予算				R3	予算		
		R4	予算	5	5		R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		
		R4	予算				R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		
		R4	予算				R4	予算		
	R3	予算				R3	予算			
	R4	予算				R4	予算			

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R3 ~ R6	要求額
----	----	---------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ H5 みはら大地幼稚園開園と同時に事業開始 ■ H28 バス利用者の保護者から負担金を徴収開始
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 引き続きバスの運行を行い、園児の安全な通園を支援する。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	特別支援学校管理運営事業 (学務課)	事業番号
担当部署名	教育委員会事務	038-012
	局	部
	総務	学務
		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
		有	取組の方向性	④特別支援教育の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.5	
		有	取組	特別支援教育の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	
3	事業開始年度	— 年度
		点検年度
		令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立支援学校に通学する児童生徒 (384人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■市立支援学校に通学する児童生徒の円滑な通学と通学途上の安全確保
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■百舌鳥支援学校及び北上神谷支援学校の送迎バスを運転手及び添乗員付きで借上げを行う ■百舌鳥支援学校分校については、重度重複障害のある児童生徒の状況を考慮し、送迎タクシーの借上げを行う
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■委託業者
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	市立支援学校に通学する児童生徒の円滑な通学と通学途上の安全確保					
	当該目標を設定した理由	市内の広範囲から支援学校に通う障害のある児童生徒が、安全に通学するとともに、保護者の負担軽減を図るため。				
	目標に対する実績	市立支援学校に通学する児童生徒の円滑な通学と通学途上の安全確保ができています				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	
	送迎バス、タクシーの運行により安全に通学できた児童生徒数	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			目標値	338	363	384
			実績値	338	363	
		達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	市立支援学校への通学に送迎バス、タクシーを要する全ての児童生徒に、安全な通学手段の確保が必要のため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	送迎を希望する支援学校在籍児童生徒				

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	特別支援学校管理運営事業（学務課）	事業番号	038-012
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	135,843	157,354	168,374	196,103	197,366
		国支出金			3,493	3,449	
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	135,843	157,354	164,881	192,654	197,366

事業費の内訳		(単位：千円)													
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源		主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
			R3	予算	事業費	うち 一般財源		R3	予算	事業費	うち 一般財源				
		自動車借上料 (枠)	R3	予算	196,103	192,654		R3	予算						
			R4	予算	197,366	197,366		R4	予算						
			R3	予算				R3	予算						
			R4	予算				R4	予算						
			R3	予算				R3	予算						
			R4	予算				R4	予算						
			R3	予算				R3	予算						
			R4	予算				R4	予算						
			R3	予算				R3	予算						
			R4	予算				R4	予算						

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	～	要 求 額		
		～			

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	■ R3児童生徒数増に対応するための増便
	R4	■ 継続実施
	R5以降	■ 支援学校在籍者数を考慮しながら、事業を実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 百舌鳥支援学校及び上神谷支援学校では現行契約に基づきバス送迎を行い、百舌鳥支援学校分校ではタクシーで送迎を行い、安全な通学を支援する。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他	
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	小学校管理運営事業 (学務課)	事業番号	038-013
担当部署名	教育委員会事務	局	総務
	部	学務	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		有	取組の方向性	⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	目標値	—
		無	取組	—			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度			平成 14 年度	点検年度		令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■児童生徒 (249人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■児童生徒の通学の安全を確保する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	■小規模再編事業を行った2校に安全指導員を配置
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■シルバー人材センター
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	児童生徒の通学の安全確保						
	当該目標を設定した理由		小規模再編に伴い通学の安全確保を要する箇所があるため。				
	目標に対する実績		児童生徒の通学の安全確保ができている				
12	活動指標 (成果を上げるための手段)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度		
	安全指導員の配置により安全を確保した児童数	人	目標値	250	249		249
		実績値	250	249			
		達成率	100%	100%			
	当該指標を選定した理由		小規模再編に伴う通学の安全確保を要する箇所が通学路となっている児童数。				
目標値の設定根拠・算出方法		配置箇所が通学路となる児童数					

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	小学校管理運営事業（学務課）	事業番号	038-013
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
		事業費 (a)			3,470	3,980	4,218
		国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	3,470	3,980	4,218	4,164	4,319

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
				新湊小に係る通学路安全指導業務（枠）	R3	予算	3,290	3,290		R3	予算
		R4	予算		3,427	3,427	R4	予算			
		はるみ小に係る通学路安全指導業務（枠）	R3	予算	874	874		R3	予算		
			R4	予算	892	892		R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		

債務負担行為		(単位：千円)		
15	期 間	R ~ R	要 求 額	

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ H14 子ども緊急通報装置設置 ■ H29 外灯防犯カメラに更新 ■ H19 新湊小・はるみ小通学路安全指導員配置
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 通学路安全指導員配置を継続実施
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施 ■ 定期的に外灯防犯カメラの点検を実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小規模再編事業に基づき安全指導員の配置を行い、通学の安全を確保する。
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	学校教育活動支援事業	事業番号 038-014
担当部署名	教育委員会事務 局 教職員人事 部	教職員企画・教職員人事 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組		—	
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	■ 第3期未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	平成 18 年度	終了(予定)年度	令和 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■ 本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■ 本市立学校園において教育を受ける幼児・児童・生徒 (幼：398人 小：41,844人 中：20,977人 高：796人 支援：364人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■ 学校園において発生する様々な諸課題・諸問題に対応し、円滑な学校園運営を側面的に支援するため非常勤講師の配置、退職者の支援、教職員への旅費支給等を行う。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ 非常勤講師等の任用 教員が様々な課題対応等に従事する場合に、担当授業に支障が生じないよう、非常勤講師等の任用・配置を行い、円滑な学校運営の支援を行う。 ■ 教職員職場復帰支援事業 精神疾患の療養のため長期間職場を離れている教員に対し、円滑な職場復帰と再発防止を図るため、職場復帰訓練等の支援を行う。 ■ 教職員の旅費 教職員が幼児、児童、生徒を引率する場合など公務のための旅行に対して旅費を支給し、学校における教育活動を支援する。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位			実績	実績見込み	目標	目標 終了(予定)年度
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和0年度
11	学校園要望に対する非常勤講師の配置率	%			100	100	100	100
					100 (316人)	100		
					100%	100%		
			当該指標を選定した理由 学校園の状況に応じた形態、時期に支援が可能で、円滑な学校園運営に大きく寄与できるため。					
		目標値の設定根拠・算出方法 非常勤講師配置数 / 学校要望件数						
12	活動指標(成果を上げるための手段) 講師登録相談会の実施	回			5	6	10	
					5	9		
					100%	150%		
			当該指標を選定した理由 学校園要望に対して非常勤講師を配置するにあたり、講師人材バンクの登録者を確保するため。					
		目標値の設定根拠・算出方法 講師登録相談会の実施回数						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	学校教育活動支援事業	事業番号	038-014
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)			360,469	339,710	292,595	397,664	375,775
		国支出金	57,479	63,396	68,732	108,127	102,780
		府支出金					
		市債					
		その他 (雇用保険個人負担金)	43	24	25	9	9
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	302,947	276,290	223,838	289,528	272,986

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源
			R3	予算	R3	予算			R3	予算	R3	予算	
		会計年度任用職員報酬	R3	予算	263,474	156,190	雇用保険負担金	R3	予算	316	307		
			R4	予算	252,731	150,574		R4	予算	218	209		
		費用弁償 (通勤費)	R3	予算	13,753	13,187	普通旅費 (枠)	R3	予算	113,391	113,391		
			R4	予算	13,273	12,795		R4	予算	103,353	103,353		
		費用弁償 (その他) (枠)	R3	予算	29	29	堺市立学校教職員復帰支援事業委託料	R3	予算	405	405		
			R4	予算	11	11		R4	予算	405	405		
		期末手当 (会計年度任用職員)	R3	予算	5,174	4,897							
			R4	予算	4,442	4,297							
		労働災害保険負担金	R3	予算	1,122	1,122							
			R4	予算	1,342	1,342							

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	H24.4 講師バンク設置 H29.4 府費負担教職員権限移譲
	R4	■ 事業の継続
	R5以降	■ 事業の継続

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	■ 引続き事業を継続する。
----	---------	---------------

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	夢をはぐくむ高校教育推進事業			事業番号	038-042
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	学校指導 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成			
			無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.1	
		寄与するKPI	有	取組	総合的な学力の育成			
			無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン				
3	事業開始年度	平成 20 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法、学校教育法、高等学校設置基準				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■堺高等学校への進学を希望する大阪府内の中学校3年生と堺高等学校在籍生徒及びその保護者				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■専門性の高い教育をとおして生徒一人ひとりの個性と能力を引き出し、生徒の進路目標を実現するための教育を展開し、本市はもとより様々な分野や国際的に活躍する人材を育成するとともに、市民からの信頼に応え、地域と連携した教育を進める。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	■各々の専門性の深化・充実や、大学等の高等教育につながる学力の向上などを進めるため、科学的な思考や創造力を高める教育、体験的で実効性をともなう教育、企業・大学など外部機関と連携した教育など、多様な教育を実践する。				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)					
10	公民連携・協働事業					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み	目標	目標 終了(予定)年度
			令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度
11 生徒対象の学校評価アンケートにおいて、「堺高校を選んでよかった」と回答した生徒の割合	%	目標値	75		85	85	85
		実績値	81		83		
		達成率	108%		98%		
		当該指標を選定した理由	教育内容の総合的な充実の度合いを測るため、アンケートで「堺高校を選んでよかった」と回答した生徒の割合を指標とした。				
目標値の設定根拠・算出方法	令和2年度は目標値を大きく上回ったので、上方修正した。 「堺高校を選んでよかった」と回答した生徒の回答数を全回答数で割った割合を指標とした。						
12 活動指標(成果を上げるための手段) 4年制大学及び短期大学への進学率	%	実績	令和2年度	実績見込み	令和3年度	目標	令和4年度
		目標値	40		40	40	
		実績値	31		31		
		達成率	78%		78%		
当該指標を選定した理由	理数教育、英語教育の充実の度合いを測るため、大学進学率を指標とした。						
目標値の設定根拠・算出方法	大阪府の高校卒業後の大学短大進学率(約60%)に対して、堺高校は実業系専門学科を持つ高校であることを考慮し、目標値を設定した。 4年制大学及び短期大学への進学者数を卒業生数で割った割合を指標とした。						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	夢をはぐくむ高校教育推進事業	事業番号	038-042
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	13,421	11,667	7,381	62,373	10,438
13 財源内訳					
国支出金			0	17,590	259
府支出金					
市債				34,100	
その他 (子ども教育ゆめ基金繰入金)	500	500	0	500	700
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	12,921	11,167	7,381	10,183	9,479

事業費の内訳

(単位：千円)

主な項目	年度		事業費		うち一般財源	主な項目	年度		事業費		うち一般財源
	R3	予算	R4	予算			R3	予算	R4	予算	
謝礼金	R3	予算	1,648	1,389	実習機器等備品購入費	R3	予算	52,481	1,050		
	R4	予算	1,558	1,299		R4	予算	945	945		
海外交流関係 (補助金、旅費など)	R3	予算	1,063	563	会計年度任用職員関係 (報酬、職員手当など)	R3	予算	2,497	2,497		
	R4	予算	1,263	563		R4	予算	2,497	2,497		
人材派遣委託料	R3	予算	2,057	2,057	消耗品費	R3	予算	504	504		
	R4	予算	1,917	1,917		R4	予算	470	470		
高大連携業務委託料	R3	予算	630	630	印刷製本費	R3	予算	210	210		
	R4	予算	360	360		R4	予算	200	200		
実習機器等修繕料	R3	予算	1,000	1,000	負担金	R3	予算	283	283		
	R4	予算	945	945		R4	予算	283	283		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり教育・理数教育・国際理解教育・環境教育の実施 ■高等学校卒業後の生徒の姿を見通し、大学や企業など社会との接続を意識した進路指導の充実
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり教育・理数教育・国際理解教育・環境教育の充実 ■生徒の学習意欲を高め、自己のキャリア形成の方向性と関連付けた専門教育の充実を図る
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり教育・理数教育・国際理解教育・環境教育の充実 ■魅力ある高等学校改革を行い、生徒一人ひとりの個性と能力を引き出し、それぞれの世界において活躍できる想像力豊かな人材の育成をめざす教育を推進するとともに、地域と連携した教育の充実を図る

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■地域に密接した大学・産業界等との連携した教育を推進 ■理数教育、国際理解教育、環境教育を充実させる。 ■各フェア参加により堺高校の魅力と進学に必要な情報を来場者に発信する。 ■ものづくり教育の充実に向け、老朽化した実習機器の更新やメンテナンスを行う。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他			
一般会計			事務事業分類	A 一般事務事業		
事務事業名	学校図書館教育推進事業		事業番号	038-034		
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	学校指導	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成			
			有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.1	
		寄与するKPI	有	取組	総合的な学力の育成			
			有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	平成 19 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法、学校図書館法、学習指導要領						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁					
6	事業の対象 (対象とする人、対象数)	■市内全小中学校135校					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■本に親しむことをとおして、豊かな心と自ら学ぶ態度を育成できるよう、児童生徒の読書習慣を定着させる。また、調べ学習などの学習センター機能の充実を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■司書教諭を支援する人材として、拠点校(5校)には学校図書館職員、小・中学校には学校司書を配置し、読書センター機能、学習センター機能及び情報センター機能の充実を図る。また、学校図書館サポーターを活用し、開かれた学校図書館の実現をめざす。 ・司書教諭及び学校図書館担当者、学校司書、学校図書館サポーターに対する研修の実施 ・学校図書館職員・学校司書による小学校巡回訪問の実施 ・小中学生における読書ノート等の活用 					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■会計年度任用職員					
10	公民連携・協働事業	■セレッソ大阪との読書推進プロジェクト					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標		目標 終了(予定)年度	
			令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和7年度		
11 「家や図書館で、普段(月～金曜日)1日当たり30分以上読書をしている」と回答した児童生徒数(割合)	人 (%)	目標値	小6 35.0 中3 25.0							
		実績値	小6 1,966(26.2)	小6 31.2 中3 21.3						
		達成率	74%	小89% 中85%						
当該指標を選定した理由	普段の読書率が事業の達成状況の把握に適切であると判断したため									
目標値の設定根拠・算出方法	令和2年度：堺市「子どもがのびる」学びの診断児童生徒質問紙 令和3年度：全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙									
12 活動指標(成果を上げるための手段) 学校図書館来館者のべ数(令和2年度は中学校のみ)	人	目標値	120,000	390,000	390,000					
		実績値	109,793	370,000						
		達成率	91%	95%						
当該指標を選定した理由	学校図書館機能の活用を測る方法として適切であると判断した。令和3年度からは小学校にも週2回の司書が配置されたため小中学校の年間来館者数としている。目標値の設定については、令和2年度の実績値が382,211人であったことから、390,000人とした。									
目標値の設定根拠・算出方法	令和2年度：中学校年間来館者数 令和3年度以降：小中学校年間来館者数									

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	学校図書館教育推進事業	事業番号	038-034
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	74,497	74,974	77,841	101,313	95,227
	国支出金	11,406	11,550	5,653	9,772	10,208
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	63,091	63,424	72,188	91,541	85,019

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源
		R3	予算	R4	予算			R3	予算	R4	予算	
14 事 業 費 内 訳	会計年度任用職員報酬	R3	予算	60,434	60,434		読書ノート配送委託料	R3	予算	680	680	
		R4	予算	55,168	55,168			R4	予算	0	0	
	会計年度任用職員通勤費等	R3	予算	8,930	8,930		研修会場等借上料	R3	予算	120	120	
		R4	予算	8,394	8,394			R4	予算	120	120	
	会計年度任用職員期末手当	R3	予算	1,525	1,525			R3	予算			
		R4	予算	610	610			R4	予算			
	学校図書館サポーター謝礼金等	R3	予算	29,614	19,842			R3	予算			
		R4	予算	30,925	20,717			R4	予算			
	研修会用消耗品費	R3	予算	10	10			R3	予算			
		R4	予算	10	10			R4	予算			

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 拠点校5小中学校 ■ 学校司書41中学校 (週2日 勤務) ■ 学校司書89小学校 (週2日 勤務) ■ 学校図書館サポーター (中学校：年70回、小学校：年105回)
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 拠点校2小中学校 ■ 学校司書42中学校 (週2日 勤務) ■ 学校司書91小学校 (週2日 勤務) ■ 学校図書館サポーター (中学校：年70回、小学校：年105回)
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 拠点校2小中学校 ■ 学校司書42中学校 (週2日 勤務) ・学校司書91小学校 (週2日 勤務) ■ 学校図書館サポーター (中学校：年70回、小学校：年105回)

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小中学校学校司書の1校あたりの勤務日数週2日を継続する。 ■ 1校あたりのサポーターの配当回数は、小学校105回、中学校70回を継続する。 <p>【国の動向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 平成26年6月学校図書館法が一部改正、「学校司書を置くように努めなければいけない」とされた。(平成27年4月施行) ■ 平成29年度より5ヶ年計画で、学校図書館図書標準の達成、学校図書館への新聞配備を中学校2紙、小学校1紙、1.5校に1人の学校司書の配置等のための学校図書館関係の地方交付税措置が図られている。令和4年度以降は新たな5ヶ年計画が示される予定である。 <p>【堺市SDGs未来都市計画のKPI達成への寄与】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 本事業は、読書センター・学習センター・情報センターとしての学校図書館の活性化を図ることで、豊かな心の育成や総合的な学力の向上に寄与する。また、SDGsターゲット4-6の「子ども読書活動の推進」の達成に向けた取組となっている。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	社会的実践力向上推進事業			事業番号	038-035
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	学校指導 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進
			有	取組の方向性	①郷土・堺の歴史を学び、発信できる力の育成		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.1
			有	取組	総合的な学力の育成		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期末来をつくる堺教育プラン					
3	事業開始年度	平成 30 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法第2条、第5条 学校教育法第21条 学習指導要領					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立小中学校の児童生徒 62,900人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■堺の歴史・文化・環境・防災・情操教育等をととして、子どもたちの社会的実践力を育む。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ <子ども堺学> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども堺学推進校の指定による研究発信 (小学校 2 校、中学校 1 校) ・キャリア教育 <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育教員研修の実施 エキスパート派遣 (キャリア教育の講師等を派遣) 堺ゆめ授業「ようこそ堺の先輩」 (各校が招聘したキャリア教育講師による授業に対し、講師謝礼金を支払う) トップアスリート派遣 (スポーツ分野における専門的知識・技能を有する人材を講師・指導者として派遣) 「キャリアマップ」の活用 (中学校 1 年生に配布し、自分のキャリアプランニングに活用) ■環境・防災教育 <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育 <ul style="list-style-type: none"> 防災教育研修 (「防災教育指導のてびき」を活用した防災教育カリキュラム研修等を実施)
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■堺・スクールサポーター
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
11 「将来の夢や目標をもっています」と答えた児童・生徒の割合	%	目標値	74	75	76	79		
		実績値	74	74				
		達成率	100%	99%				
当該指標を選定した理由		子ども堺学、キャリア教育等、小学校・中学校の教育課程において育成される社会参画力を図る指標となるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		令和2年度まで「堺市『子どもがのびる』学びの診断児童生徒質問紙調査 (小学校6年・中学校2年平均値)」 令和3年度以降「全国学力状況調査児童生徒質問紙調査 (小学校6年・中学校3年平均値)」						
12 活動指標(成果を上げるための手段)	%	目標値	89	90	91			
		実績値	88	91				
		達成率	99%	101%				
当該指標を選定した理由		子ども堺学、キャリア教育等、小学校・中学校の教育課程において育成される社会参画力を図る指標となるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		令和2年度まで「堺市『子どもがのびる』学びの診断児童生徒質問紙調査 (小学校6年・中学校2年平均値)」 令和3年度以降「全国学力状況調査児童生徒質問紙調査 (小学校6年・中学校3年平均値)」						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	社会的実践力向上推進事業	事業番号	038-035
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	102,297	105,669	106,558	98,036	82,527
13 財源内訳					
国支出金	15,307	14,753	36,199	27,936	17,520
府支出金					
市債					
その他 (ゆめ基金・寄附金)	30,631	28,697	14,372	1,100	18,600
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	56,359	62,219	55,987	69,000	46,407

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	予算	R4	予算		R3	予算	R4	予算
14	堺・スクールサポーター等謝礼金	R3	予算	84,861	56,125	堺っ子書道展等消耗品費	R3	予算	407	107
		R4	予算	53,611	35,291		R4	予算	521	521
	堺・スクールサポーター等保険料等	R3	予算	860	860	会計年度任用職員報酬	R3	予算	2,088	2,088
		R4	予算	860	860		R4	予算	2,088	2,088
	社会科副読本等印刷製本費	R3	予算	6,951	6,951	会計年度任用職員通勤費等	R3	予算	214	214
		R4	予算	4,678	4,678		R4	予算	214	214
	社会科副読本編集等委託料	R3	予算	1,906	1,906	会計年度任用職員期末手当	R3	予算	253	253
		R4	予算	19,706	1,906		R4	予算	253	253
	堺っ子書道展等会場等借上料	R3	予算	496	496					
		R4	予算	596	596					

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市教委が作成・配布したモデルカリキュラムや学習プログラムを各校において活用 ■ キャリアパスポートの作成や新型コロナサポーターの活用など、子ども堺学やキャリア教育の充実
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会的実践力の向上を図るため、各取組を継続的に実施
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会的実践力の向上を図るため、令和4年度までの取組を継続して実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校現場においては、学習面での支援の必要な児童が増えていることや、コロナ禍における教員の負担増加などにより、スクールサポーターによる支援がこれまで以上に求められる。授業や学校活動におけるきめ細やかな指導を充実し、教育の質の向上を図るため、スクールサポーターの派遣を継続する。 ■ 本事業を通して、各校の地域の特性に応じた特色ある教育や発達段階に応じたキャリア教育を推進することで、社会的・職業的自立にむけた基盤となる能力を育成し、人格の完成を目指す豊かな情操や感性を育てていくため、事業を継続する。
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	教育研究推進事業			事業番号	038-038
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	学校指導
					課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①信頼される教員の育成		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
		有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.1	
		有	取組	総合的な学力の育成			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期末未来をつくる堺教育プラン					
3	事業開始年度	平成 17 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法、教育公務員特例法					
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立学校園の教職員 4,530人					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■教職員が、教科指導等に対する専門知識についての深い見識と、特別支援教育、生徒指導、学校経営、学校事務等に対する広い視野を持ち、資質・能力の向上を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	■今日的教育課題や教育活動・指導方法の改善に関する教職員の調査・研究や学校園をあげて組織的に取り組む研究に対して、負担金、報償費等を配当する。					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■研修講師					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 終了(予定)年度 令和7年度
	〔令和2年度まで〕 「児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした」と答えた教員数(割合)	校	目標値	2,810(82)	119 (88)	125	135
			実績値	2,759(79)	119 (88)		
	〔令和3年度以降〕 「調査対象の児童や生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」と答えた学校数(割合)	校	達成率	81%	100%		
当該指標を選定した理由			新学習指導要領が示している3つの資質・能力「学びにむかう力・人間性等」「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」の育成をしているか把握するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		〔令和2年度まで〕堺市「子どもがのびる」学びの診断 学校質問紙調査 〔令和3年度以降〕全国学力・学習状況調査(肯定回答をした学校数)					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	
	〔R2年度まで〕 「他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしている」と答えた学校数	人(%)	目標値	130	105	105	
			実績値	105	96		
	〔R3年度以降〕 「教職員は、校内外の研究や研修に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている」と答えた学校数	人(%)	達成率	98%	82%		
当該指標を選定した理由			教員の資質向上に向け組織的な研究や研修を行っているか把握するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		〔令和2年度まで〕堺市「子どもがのびる」学びの診断 学校質問紙調査 〔令和3年度以降〕全国学力・学習状況調査(肯定回答をした学校数)					

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	教育研究推進事業	事業番号	038-038
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)									
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
			決算	決算	決算	予算	予算要求				
		事業費 (a)	10,211	10,575	5,150	12,111	12,270				
		国支出金	586	569		1,574	1,624				
		府支出金									
		市債									
		その他 ()									
		受益者負担金(使用料、手数料等)									
		一般財源	9,625	10,006	5,150	10,537	10,646				
事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	予算				R3	予算		
		教育活動研究推進事業等負担金	R3	予算	8,176	8,176	各研究指定校委託事業	R3	予算	1,574	0
			R4	予算	8,285	8,285		R4	予算	1,624	0
		教育活動研究推進事業等謝礼金	R3	予算	1,183	1,183		R3	予算		
			R4	予算	1,183	1,183		R4	予算		
		教育活動研究推進事業等消耗品費	R3	予算	1,034	1,034		R3	予算		
			R4	予算	1,034	1,034		R4	予算		
		教育活動研究推進事業等使用料	R3	予算	140	140		R3	予算		
			R4	予算	140	140		R4	予算		
		教育活動研究推進事業等手数料	R3	予算	4	4		R3	予算		
			R4	予算	4	4		R4	予算		
債務負担行為		(単位：千円)									
15	期間	R ~ R				要求額					

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	研修会参加・講師招聘研究会の実施 教職員が、教科指導等に対する専門知識についての深い見識と、特別支援教育、生徒指導、学校経営、学校事務等に対する広い視野を持ち、資質・能力の向上を図るため、研修会に参加したり、講師を招聘して自校にて研修会を行う。
	R4	研修会参加・講師招聘研究会のさらなる実施の充実 教職員が、教科指導等に対する専門知識についての深い見識と、特別支援教育、生徒指導、学校経営、学校事務等に対する広い視野を持ち、資質・能力の向上を図るため、研修会に参加したり、講師を招聘して自校にて研修会を行う。
	R5以降	研修会参加・講師招聘研究会のさらなる実施の充実 教職員が、教科指導等に対する専門知識についての深い見識と、特別支援教育、生徒指導、学校経営、学校事務等に対する広い視野を持ち、資質・能力の向上を図るため、研修会に参加したり、講師を招聘して自校にて研修会を行う。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	新学習指導要領の完全実施、また、GIGAスクール構想の実現による新たなICT環境の活用により、授業改善に係る研究会や校内研修の機会が多くなると考えられる。また、今年度参集型研修の多くが中止・延期となり、その代わりにオンライン開催や紙面開催の研修が増加した。教育の質を保つためにも、一定の研究会参加負担金や校内研修の講師謝礼金が必要である。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	堺版コミュニティ・スクール推進事業	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務 局 学校教育 部	事業番号	038-039
			学校指導 課

I. 基本情報

事業の位置付け									
1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~			施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		有		取組の方向性	⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進				
		無		指標名	—				
	堺市SDGs未来都市計画	寄与するKPI	有・無	指標名	—			目標値	—
		有		現状値	—				
		無		現状値	—				
2 関連計画		■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン							
3 事業開始年度		平成 27 年度			終了(予定)年度		令和 7 年度		
4 実施根拠(根拠法令、条例等)		■教育基本法							
事業の概要									
5 事業の実施主体(実施主体となる団体等)		■本庁							
6 事業の対象(対象とする人や物、対象数)		■市立小学校92校 市立中学校43校							
7 事業の目的(事業実施によりめざす状態)		■地域と学校が支え合い、コミュニティの拠点となりうる「堺版 コミュニティ・スクール」を全小中学校に構築するために、学校運営に地域住民や保護者の声を反映し、学校のマネジメント力を向上させるとともに、地域住民が学校の教育活動を多様な方法で支援する。							
8 事業内容(目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		<ul style="list-style-type: none"> ■保護者・地域住民等の参画による学校協議会の設置 学校経営方針を共有し、諸課題の解決に向けた協議や協働した取組など、保護者・地域住民等の学校経営への参画を図る「学校協議会」を設置する。 ■地域人材による学校支援体制の充実 学校経営方針に基づき、教育活動の推進や改善を図るため、保護者・地域住民等による学校を支援する活動や体制づくりを推進する。 ■堺版 コミュニティ・スクール推進のための説明会の開催 学校(管理職・教職員)や学校協議会(保護者・地域住民等)を対象にした研修を開催する。 							
9 主な支出先(委託・補助金・負担金等)		■コーディネーター謝礼金							
10 公民連携・協働事業									

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定								
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 終了(予定)年度 令和7年度		
	全国学力・学習状況調査の質問紙項目「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人の協働による活動を行いましたか。」の肯定回答	%	目標値	—	小82.0 中90.0	小83.0 中90.0	小84.0 中90.0	
		実績値	—	小80.4	中62.8	/		
		達成率	—	小98	中69.7	/		
当該指標を選定した理由		保護者・地域住民等による学校を支援する活動や体制づくりを推進することが重要であるため、本指標を設定した。なお、従来の指標(子どもがのびる学びの診断)については廃止となったため、新たに指標を設定した。また、「全国学力・学習状況調査」については、昨年度コロナ禍のため中止されており、昨年度の実績値はない。						
目標値の設定根拠・算出方法		<ul style="list-style-type: none"> ■小学校においては府平均(83.4%)より下回っている状況があり、終了年度の目標値を84%と設定 ■中学校においては高い水準となっているが、より充実を図るため、終了年度の目標値を90%と設定 						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	/		
	全国学力・学習状況調査の質問紙項目「保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか。」の肯定回答	%	目標値	—	小93.0 中98.0	小93.0 中98.0	/	
		実績値	—	小93.5	中90.7	/		
		達成率	—	小100.5	中92.6	/		
当該指標を選定した理由		保護者・地域住民等との地域協働を推進することが重要であることから、本指標を設定した。なお、従来の指標(子どもがのびる学びの診断)については廃止となったため新たに指標を設定した。また、「全国学力・学習状況調査」については、昨年度コロナ禍のため中止されており、昨年度の実績値はない。						
目標値の設定根拠・算出方法		保護者・地域住民等との地域協働を推進することが重要であることから、本指標を設定した。なお、従来の指標(子どもがのびる学びの診断)については廃止となったため新たに指標を設定した。また、「全国学力・学習状況調査」については、昨年度コロナ禍のため中止されており、昨年度の実績値はない。						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	堺版コミュニティ・スクール推進事業	事業番号	038-039						
Ⅲ. 令和4年度予算要求額									
事業コスト (単位：千円)									
13 財 源 内 訳	項 目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求			
	事業費 (a)	2,270	1,671	1,054	1,623	1,623			
	国支出金	753	641	350	541	541			
	府支出金	349	295	175	259	259			
	市債								
	その他 ()								
	受益者負担金(使用料、手数料等)								
一般財源	1,168	735	529	823	823				
事業費の内訳 (単位：千円)									
14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	
	コーディネーター謝礼金	R3	予算	1,018	509		R3	予算	
		R4	予算	1,018	509		R4	予算	
	地域コミュニティ学校運営消耗品費	R3	予算	135	68		R3	予算	
		R4	予算	135	68		R4	予算	
	地域コミュニティ学校運営食糧費	R3	予算	405	203		R3	予算	
		R4	予算	405	203		R4	予算	
	研修会場使用料	R3	予算	65	43		R3	予算	
		R4	予算	65	43		R4	予算	
		R3	予算				R3	予算	
	R4	予算				R4	予算		
債務負担行為 (単位：千円)									
15	期間	R ~ R		要求額					
Ⅳ. スケジュール									
経過及び今後の展開									
16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校・家庭・地域の連携・協働体制を構築し、堺版コミュニティ・スクールを全小中学校で取り組む。 							
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 堺版コミュニティ・スクールに全小中学校で取り組み、令和6年度からの国の方針に基づくコミュニティ・スクールの導入にむけ、学校・家庭・地域へ理解をすすめる研修会を実施するとともに、地域教育振興課と連携し、制度設計を行う。 							
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 堺版コミュニティ・スクールに全小中学校で取り組み、令和6年度からの国の方針に基づくコミュニティ・スクールの導入にむけ、学校・家庭・地域へ理解をすすめる研修会を実施するとともに、地域教育振興課と連携し、制度設計を行う。令和6年度、国の方針に基づいたコミュニティ・スクールを全面実施。 							
Ⅴ. 要求のポイント									
17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実効的・機能的な学校協議会の運営に向けた環境整備の充実に資する予算を計上。 							

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	豊かな心の育成事業			事業番号	038-046
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	学校指導

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(3) 多様性を尊重した教育の推進
		寄与するKPI	有・無	取組の方向性	①個性や違いを理解して自他ともに尊重できる心の育成		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	有・無	現状値	—	目標値	—
2	■ 堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度		平成 27 年度	終了(予定)年度		令和 7 年度	
4	■ 教育基本法						
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		■ 本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		■ 堺市立全小中学校 135校 ■ 指定校1小学校 ※指定校は年度毎に指定する。 (令和2年度において、年度当初は小中学校合わせて12校程度を予定していたが、文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」が中止となったため、規模を縮小して、道徳教育の充実にに向けた研究・実践に取り組んだ。)				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		■ 子どもの豊かな心の育成をめざし、小・中学校における道徳科の指導の充実に図るとともに、家庭・地域と連携した豊かな体験と道徳科を関連づけた道徳教育を推進する。 ■ 小中9年間を見通し、地域の実態や課題に応じた継続性のある道徳教育を実施することで、将来に夢をもち、郷土を愛する心を育む。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法、手 ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		■ 指定校においては、以下の内容に取り組む。 (1) 道徳教育及び「道徳科」の授業づくりや評価の充実にに向けた研究及び実践 (2) 全市に向けた公開授業の実施を含む公開授業研究会の開催 (3) 地域人材を講師に招いたり、保護者とともに道徳教育に関する活動をしたりするなど、家庭・地域と連携した道徳教育の推進				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)		■ 講師謝礼金				
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度	目標 終了(予定)年度	令和7年度
11	全国学力・学習状況調査質問紙調査において「自分にはよいところがある」と答えた児童生徒の割合	%	目標値	小85 中75	小86 中78	小87 中81	小90 中90	
			実績値	—	小78.5 中75.4			
			達成率	—	小91.2 中96.6			
	当該指標を選定した理由	豊かな心の育成に向けては、「自尊感情の高揚」が求められているため。						
目標値の設定根拠・算出方法	■ 令和3年度は、目標を上回り、令和7年度90%に向けて段階的に目標値を達成するために、令和4年度の目標値を設定した。 ■ 「自分にはよいところがある」と回答した生徒の回答数を全回答数で割った割合を指標とした。							
12	活動指標(成果を上げるための手段) 全国学力・学習状況調査質問紙調査において「学校のきまりを守っている」と答えた児童生徒の割合	%	目標値	小90 中90	小90 中90	小90 中90		
			実績値	—	小96.8 中97.7			
			達成率	—	小107.6 中108.6			
	当該指標を選定した理由	豊かな心の育成に向けては、「規範意識の醸成」が求められているため。						
目標値の設定根拠・算出方法	■ 令和元年度は目標値を上回ったが、高い目標値のため、現状維持とした。 ■ 「学校のきまりを守っている」と回答した生徒の回答数を全回答数で割った割合を指標とした。							

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	豊かな心の育成事業	事業番号	038-046
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)									
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
			決算	決算	決算	予算	予算要求				
		事業費 (a)	15,954	1,688	0	1,663	1,668				
		国支出金	15,561	1,255	0	1,663	1,668				
		府支出金									
		市債									
		その他 ()									
		受益者負担金(使用料、手数料等)									
		一般財源	393	433	0	0	0				
事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	R4	予算	予算	0	研修会場使用料	R3	R4	予算
		道徳教育推進指定校講師謝礼金			575	0				115	0
		出張旅費			459	0					
		道徳教育推進指定校消耗品			280	0					
		印刷製本費			210	0					
		通信運搬費			24	0					
債務負担行為		(単位：千円)									
15	期間	R ~ R				要求額					

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「特別の教科 道徳」の全面実施 ■ 研究校を指定し、道徳教育の推進、道徳の授業づくり、教科書・副読本の活用、評価の研究を推進
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研究校を指定し、道徳教育の推進、道徳の授業づくり、教科書・副読本の活用、評価の研究を推進
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「特別の教科 道徳」についての授業づくり、教科書・副読本の活用、評価についての取組の研究の推進

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研究校を指定し、道徳教育を推進する。 ■ 道徳の授業づくり、教科書・副読本の活用、評価についての研究をすすめ、全市に発信する。
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	小中一貫教育充実事業			事業番号	038-131
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	学校指導 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
		有	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成				
	堺市SDGs 未来都市計画	寄与するKPI	有・無	指標名				
		無	現状値	—				
		有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		目標値	—	
		有	取組	総合的な学力の育成				
有・無	指標名					ターゲット	4.1	
無	現状値	—				目標値	—	

2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	平成 20 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法、学校教育法、学習指導要領		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立小中学校の全児童生徒 62,900人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■すべての中学校区で共通した教育目標を設定し、静謐な教育環境の実現と、総合的な学力の向上に向け義務教育9年間の一貫したカリキュラムや指導体制に基づく教育活動を実施し、教科学力・学びの基礎力・社会的実践力を関連づけながら、子ども一人ひとりの総合的な学力の向上を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■小中一貫教育の取組を充実させている中学校区の取組の発信・共有 ■施設一体型小中一貫校による取組の発信、他市町村からの視察受入れ ■小中一貫教育全体協議会等の開催 ■小中合同研修、夏季研修等における指導助言
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■物品等販売業者
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位			実績	実績	目標	目標
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	終了(予定)年度 令和7年度
11	[R2年度まで] 中学校区で小中一貫ランドデザイン(めざす子ども像・発達段階に応じた目標・重点となる活動)を共有し、取組を進めている学校数 [R3年度以降] 近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校数 ※令和3年度以降は、堺市「子どもがのびる」学びの診断が廃止されたため、全国学力・学習状況調査の学校質問紙にて指標を選定する	校	目標値		135	135	135	135
			実績値		113	94	/	/
			達成率		84%	70%	/	/
			当該指標を選定した理由 中学校区で小中一貫教育における取組を進めている学校を客観的に把握するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		[R2年度まで]堺市「子どもがのびる」学びの診断(「よく行っている」「どちらかといえば行っている」と肯定回答をした学校数) [R3年度以降]全国学力・学習状況調査(肯定回答をした学校数)						
12	活動指標(成果を上げるための手段) 近隣の小・中学校と合同して授業研究や研修等を実施した学校数	校	目標値		135	135	135	/
			実績値		調査なし	81	/	/
			達成率		-	60%	/	/
			当該指標を選定した理由 学期に1回以上の情報交換会、年1回以上の合同研修会等を計画・実施している学校数を客観的に把握するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		全国学力・学習状況調査(肯定回答をした学校数)						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	小中一貫教育充実事業	事業番号	038-131
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	2,426	2,474	867	3,698	3,698
13 財源内訳					
国支出金	417	69	30	635	635
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	2,009	2,405	837	3,063	3,063

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	予算	R4	予算		R3	予算	R4	予算
14	研修等講師謝礼金	R3	予算	1,219	1,081		R3	予算		
		R4	予算	1,219	1,081		R4	予算		
	教育課程研究指定校旅費	R3	予算	597	232		R3	予算		
		R4	予算	597	232		R4	予算		
	小中一貫研修校等消耗品費	R3	予算	1,816	1,720		R3	予算		
		R4	予算	1,816	1,720		R4	予算		
教育課程研究指定校印刷製本費	R3	予算	36	0		R3	予算			
	R4	予算	36	0		R4	予算			
小中一貫教育全国連絡協議会正会員会費	R3	予算	30	30		R3	予算			
	R4	予算	30	30		R4	予算			

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■これまでの小中一貫教育における取組の検証 ■小中一貫ランドデザイン（教育課程）を各中学校区で策定 ■小中一貫教育の導入期から充実期に向けて、重点的に取り組むべき内容の検討
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■小中一貫ランドデザインに基づいた小中一貫教育の充実 ■中学校区で、総合的な学力向上のための共通の教育目標を設定し、検証改善サイクルを構築する。 ■小中一貫教育を推進する組織を運営し、継続的・安定的に小中一貫教育を行う。
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■小中一貫ランドデザインに基づいた小中一貫教育の充実 ■中学校区で、総合的な学力向上のための共通の教育目標を設定し、検証改善サイクルを構築する。 ■小中一貫教育を推進する組織を運営し、継続的・安定的に小中一貫教育を行う。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■中学校区の課題を共有し、課題解決に向けて、具体的な取組を推進するため、各校の担当者による研修を行うなどの機会の設定が必要である。研修謝金や消耗品費を各中学校区に配当することで、小・中学校合同研修を支援する。
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	教育活動支援事業			事業番号	038-037
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	生徒指導・学校指導

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本計画 2025	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進
		有	取組の方向性	③健やかな心身の育成		
	有・無	指標名	—			
	無	現状値	—			
堺市SDGs 未来都市計画	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.1
	有	取組	総合的な学力の育成			
	有・無	指標名	—			
無	現状値	—				
2	関連計画	堺市教育大綱、第3学期未来をつくる堺教育プラン				
3	事業開始年度	— 年度	終了(予定)年度	令和 - 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法				
事業の概要						
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立学校園の幼児児童生徒 (6.5万人)				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<p>■子どもを取り巻く生活環境や社会環境の変化に伴い、生きることの大切さや自己の豊かな生き方を描くことが難しくなっているなか、各学校行事における目標達成をめざして互いに団結力を高め、良好な集団づくりを通して、子どもの自尊感情や規範意識を醸成し、豊かな心を育成するための学校教育活動を支援することを目的とする。</p> <p>■小・中学校連合音楽会は、伝統的な行事であり、堺市立の全小学校、全中学校が参加している。平素の音楽活動で身に付けた表現力を発表するとともに、音楽を鑑賞することを通して、児童の音楽性、表現力、感性を培い、豊かな情操を養うこと、また連合音楽会に参加することで、全市児童、生徒が校区を超えてお互いの親睦を図るとともに、音楽鑑賞時のマナーを学ぶことを目的とする。</p> <p>■小学校連合運動会 堺市の6年生が一堂に会し、平素学習した技を競い、あるいは演技を共に行い、お互いの親睦を図るとともに、競技・演技を通して、自尊感情を培い、良き観衆としてのマナーを身につけることを目的とする。</p>				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>■小中学校連合音楽会、小学校連合運動会の開催⇒令和2、3年度は中止 ・児童生徒が参加する全市的な音楽会、運動会を開催する。</p> <p>■学校園行事に対する支援 ・学校園で様々な教育活動を通じて、情操、想像力、社会性を養う。</p>				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■堺市初等教育研究会、堺市立中学校教育研究会、堺市立小学校体育連合会				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 終了(予定)年度
	連合運動会の開催	校	目標値	中止	92	92
		実績値	中止	中止		
		達成率	中止	中止		
当該指標を選定した理由		児童生徒に対して校区を越えた学習発表の場を提供することが、全市的な教育活動の充実につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		全小学校数				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	
	連合運動会の開催	校	目標値	中止	92	
		実績値	中止	中止		
		達成率	中止	中止		
当該指標を選定した理由		児童生徒に対して校区を越えた学習発表の場を提供することが、全市的な教育活動の充実につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		全小学校数				

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	教育活動支援事業	事業番号	038-037
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	25,872	6,696	6,116	42,705	9,827
13 財源内訳					
国支出金	4,000		1,332	39,617	
府支出金					
市債					
その他 (堺市子ども教育ゆめ基金)	4,727	4,718			6,821
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	17,145	1,978	4,784	3,088	3,006

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14	行事関係使用料	R3	予算	2,492	1,622	フィルム映写業務	R3	予算	110	110
		R4	予算	1,543	1,543		R4	予算	110	110
	教職員の出張にかかる使用料	R3	予算	300	300	英語暗唱大会報償費	R3	予算	51	51
		R4	予算	300	300		R4	予算	51	51
	読書感想文コンクール等印刷製本費	R3	予算	750	750	読書感想文コンクール等消耗品費	R3	予算	45	45
		R4	予算	747	747		R4	予算	45	45
	堺市立学校修学旅行の延期等経費補助金	R3	予算	38,747	0	小学校連合音楽会開催業務	R3	予算	0	0
		R4	予算	0	0		中学校連合音楽会開催業務	R4	予算	3,696
	体験学習保険料	R3	予算	210	210	小学校連合運動会開催業務	R3	予算	0	0
		R4	予算	210	210		R4	予算	3,125	0

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各学校の計画をもとに行事関係使用料を執行し、学校行事について支援する。 ■ 小中学校連合音楽会、小学校連合運動会を開催する。⇒令和2、3年度はコロナ禍のため中止
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各学校の計画をもとに行事関係使用料を執行し、学校行事について支援する。 ■ 小中学校連合音楽会、小学校連合運動会を開催する。
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各学校の計画をもとに行事関係使用料を執行し、学校行事について支援する。 ■ 小中学校連合音楽会、小学校連合運動会を開催する。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 豊かな心の育成や総合的な学力の向上に向け、各学校行事等について支援する。
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	幼児教育充実事業	事業番号
担当部署名	教育委員会事務局	038-041
	局	部
	教育センター・学校教育部	能力開発課・学校指導課
		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②多様で質の高い教育・保育サービスの提供			
			有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2	
		寄与するKPI	有	取組	安全安心で質の高い幼児教育・保育の提供、小学校教育との連携			
			有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期末未来をつくる堺教育プラン、堺市幼児教育基本方針、堺市子ども・子育て総合プラン		
3	事業開始年度	平成 10 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法 学校教育法		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■出先機関・本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立幼稚園・小学校、市内の就学前教育・保育施設 (280施設)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■公民園種を超えた市全体の幼児教育の質の向上及び小学校教育との円滑な接続
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■保育者の資質向上に向けた研修や施設に対する助言・相談業務、幼児教育センター機能の充実 ■円滑な幼小接続のための研修や交流活動等の実施 ■要配慮児への指導に関する専門家等の派遣や研修等の実施 ■公立幼稚園の園運営及び研究実践に係る支援
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺市私立幼稚園連合会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
11 ■スタートカリキュラムを編成・実施後に、評価改善を行っている小学校の割合	%	目標値	50	50	60	100		
		実績値	15	50				
		達成率	30%	100%				
		当該指標を選定した理由	円滑な幼小接続に寄与するため					
目標値の設定根拠・算出方法	令和4年度：60%の学校で実施 令和7年度：全校での実施							
12 活動指標(成果を上げるための手段) ■保幼小合同研修会の延べ参加人数	人	目標値	390	390	580			
		実績値	0	390				
		達成率	0%	100%				
		当該指標を選定した理由	小学校と幼児教育・保育施設の職員が交流することで相互理解できる機会となり、スタートカリキュラム等について理解が深まるため					
目標値の設定根拠・算出方法	7割以上の参加 (280学校園を対象に年間3回程度実施)							

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	幼児教育充実事業	事業番号	038-041
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	35,509	9,814	7,325	11,296	11,225
		国支出金	4,719	282	759	913	950
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	30,790	9,532	6,566	10,384	10,275

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	予算				R3	予算		
		■保育補助員 報酬等	R3	予算	5,998	5,998	■通信運搬費	R3	予算	23	23
			R4	予算	6,131	6,131		R4	予算	23	23
		■専門家等講師謝礼金	R3	予算	1,535	768	■就学支援情報HP掲載委託料	R3	予算	150	150
			R4	予算	1,723	862		R4	予算	0	0
		■自然環境づくり謝礼金	R3	予算	665	665	■使用料 (会場・バス)	R3	予算	336	293
			R4	予算	627	627		R4	予算	287	265
		■旅費	R3	予算	189	137	■補助金 (幼児教育振興事業等)	R3	予算	1,500	1,500
			R4	予算	34	17		R4	予算	1,500	1,500
		■消耗品費 (研究実践支援含む)	R3	予算	900	850		R3	予算		
			R4	予算	900	850		R4	予算		

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R	～	R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	R2年度の堺市幼児教育基本方針の改定に基づき、教育センター内に、市内の幼児教育の質向上のため幼児教育センター機能を構築し、公立幼稚園の研究実践機能強化等、幼児教育センター機能の充実を図る。
	R4	堺市幼児教育基本方針の改定に基づき、公立幼稚園の研究実践機能強化等、幼児教育センター機能の充実を図る。
	R5以降	堺市幼児教育基本方針の改定に基づき、公立幼稚園の研究実践機能強化、民間園との連携等、幼児教育センター機能の充実を図る。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ○市立幼稚園において、研究実践を促進し、成果を広く発信する。 ○育成指標や各施設の教育課題に応じた多様な研修を実施。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他			
		事務事業分類	A 一般事務事業			
事務事業名	特別支援教育環境整備事業		事業番号	038-048		
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	支援教育	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	④特別支援教育の推進			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—			
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—	
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.5	
		寄与するKPI	有	取組	特別支援教育の推進			
2	関連計画		—					
3	事業開始年度		平成 27 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		<ul style="list-style-type: none"> ■教育基本法 学校教育法 障害者基本法 発達障害者支援法 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		■本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		■障害のある幼児児童生徒				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		<ul style="list-style-type: none"> ■インクルーシブ教育システムの構築をめざし、支援学級の運営支援を柱にした教育環境整備や、保護者の意向を尊重し本人の教育的ニーズを踏まえた就学相談や教育相談の充実を図る。 ■本市の特別支援教育の推進と充実のため、支援学校教員の専門性向上及び支援学校センター的機能の充実を図る。 				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など		<ul style="list-style-type: none"> ■教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、小中学校支援学級、支援学校に特別支援教育支援員を配置。 ・校外学習等に参加する車いす等を使用する小中支援学級、支援学校在籍児童生徒の車両借上費用を補助。 ・支援学級・支援学校在籍児童生徒の宿泊行事参加時に、必要に応じて医療的ケア看護職員を派遣。 ・医療的ケアが必要不可欠である小中支援学級、支援学校在籍児童生徒に対し医療的ケア看護職員を派遣。 ・通常の学級に在籍する肢体不自由等の障害により合理的配慮が必要な児童生徒に対して、学校が行う合理的配慮の提供を支援する合理的配慮協力員の活用回数を配当。 ■相談体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学校を窓口にした就学相談の実施。 ・支援教育アドバイザーによる、就学相談、入学後のフォローアップ、支援学級担当教員等への指導・助言。 ・堺市就学支援委員会の開催。 ■研修の実施等による、教員の専門性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・教育センターと連携し、専門性向上に資する研修を実施する。 ・発達障害や通級指導教室に関しての知識を有する専門家を派遣し、教員への指導助言等を行う。 ■支援学校センター的機能 <ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士である外部専門家の指導・助言による支援学校教員の専門性向上を図る。 ・地域支援の拠点としてのセンター的機能の充実に向け、支援学校教員とともに自立活動アドバイザーを学校園に派遣し、障害のある子どものアセスメントや教員への指導助言等を行う。 ■特別支援学校教育職員免許法認定講習 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府と連携し、支援学級及び支援学校教員の特別支援学校教育職員免許状の取得を推進し、教員の専門性や指導力の向上を図る。 ■特別支援教育研究協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・中・支援学校合同スポーツ大会、小・中支援学校合同学習発表会の実施。 				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		—				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)		■委託業者、特別支援教育研究協議会。				
10	公民連携・協働事業		—				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11 「特別支援教育研修及び校内外研修等により、教員の特別支援教育に関する専門性や指導力が向上している」と答えた学校園の割合	%	目標値	-	100	100		100
		実績値	-	100			
		達成率	-	100%			
当該指標を選定した理由	校内外全体での支援体制の構築には、教員の特別支援教育に関する専門性や指導力の向上が欠かせないため。						
目標値の設定根拠・算出方法	「当てはまる・どちらか」と当てはまる」の回答数/全校園数×100						
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標		
12 専門家派遣及び支援学校のセンター的機能を活用した学校園への支援割合	%	目標値	100	100	100		
		実績値	96	100			
		達成率	96%	100%			
当該指標を選定した理由	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害児等専門家派遣は、教職員及び保護者等に対して指導助言を行い、教員の資質向上にむけて実施しているため。 通級指導教室専門家派遣研修は、通級指導教室担当者に対して、専門家による指導助言を行い、通級指導教室担当者の指導力の向上にむけて実施しているため。 外部専門家については、支援学校のセンター的機能の活用【学校教育法第74条「特別支援学校の地域支援」として、支援学校教員とともに幼・小・中・高に派遣し、地域の学校園の特別支援教育の推進にむけて活用しているため。 						
目標値の設定根拠・算出方法	{発達障害児等専門家派遣執行率+通級指導教室専門家派遣執行率+外部専門家の地域の学校園への派遣回数/(総派遣回数×0.4)}÷3×100						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	特別支援教育環境整備事業	事業番号	038-048
-------	--------------	------	---------

III. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位:千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
13 事業費 (a)	241,186	271,696	354,192	420,040	504,296
財源内訳					
国支出金	4,781	5,573	29,371	5,904	15,735
府支出金	699	870	1,025		306
市債					
その他 (ゆめ基金繰入金)					2,265
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	235,706	265,253	323,796	414,136	485,990

事業費の内訳

(単位:千円)

主な項目	年度	事業費	うち一般財源	主な項目	年度	事業費	うち一般財源
14 特別支援教育支援員関係費	R3 予算	391,570	391,570	消耗品費 (GIGAスクール含む)・印刷製本費・通信運搬費	R3 予算	2,911	2,911
	R4 予算	445,329	445,329		R4 予算	1,442	1,442
看護職員・医療的ケア関係費	R3 予算	13,770	9,274	行事参加用自動車借上料	R3 予算	1,054	1,054
	R4 予算	43,656	28,805		R4 予算	1,054	1,054
謝礼金	R3 予算	8,863	7,673	就学支援委員会 (報酬・食糧費)	R3 予算	214	214
	R4 予算	8,681	7,491		R4 予算	214	214
特別支援教育合同学習発表会・小中支援学校宿泊学習支援業務	R3 予算	655	437	百舌鳥支援学校分校関係費・派遣旅費	R3 予算	557	557
	R4 予算	3,150	885		R4 予算	336	336
研究会負担金・研修参加負担金	R3 予算	282	282	免許法認定講習 (謝礼金・借上料)	R3 予算	164	164
	R4 予算	270	270		R4 予算	164	164

債務負担行為

(単位:千円)

15 期間	R ~ R	要求額
-------	-------	-----

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	■ 障害のある幼児・児童・生徒の教育環境の整備、専門家の指導助言等による教員の専門性の向上。
	R4	■ 障害のある幼児・児童・生徒の教育環境の整備、専門家の指導助言等による教員の専門性の向上。
	R5以降	■ 障害のある幼児・児童・生徒の教育環境の整備、専門家の指導助言等による教員の専門性の向上。

V. 要求のポイント

17 要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ○増加する支援学級児童生徒への支援充実 (特別支援教育支援員、医療的ケア看護職員)。 ○市全体の特別支援教育を推進するため、引き続き、支援学校の教育とセンター的機能の充実を図る。 ○GIGAスクールに向け、障害のある子どもへの支援機器を購入。
------------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	体力向上・部活動推進事業	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務局	事業番号	038-055
	局	学校教育	部
		生徒指導	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
		有	取組の方向性	③健やかな心身の育成				
	寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.5	
	有	取組	いじめを生まない豊かな心の育成					
	寄与するKPI	有・無	指標名	—				
	無	現状値	—	目標値	—			
2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	平成 11 年度		終了(予定)年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法 学習指導要領 スポーツ推進計画						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立学校の児童生徒
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> ■児童生徒の運動意欲を高め、運動習慣の確立を図る。 ■堺市の児童生徒の体力、運動能力を全国水準まで向上させる。 ■学校教育の一環である部活動を活性化し、子どもの個性の伸長や体力向上・健康増進、自尊感情・規範意識の向上、礼儀を重んじ人を思いやる心、自主自立的な態度の育成を目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■体力向上推進事業 (5小中学校を体力向上研究校として指定し、調査研究を実施) ■関西大学と連携した体力向上サポーターの活用 ■堺市体力向上検討会議 (関西大学教授をスーパーバイザーとして、本事業の効果検証及び体力向上に関わる実践研究に関わる協議等を行う) ■堺スポーツチャレンジランニング事業 (小学校対抗長縄跳び) ■在籍する学校に希望する部活動のない生徒が他校の部活動に参加できるよう種目別拠点校を設ける。専門性や指導力の高い人材を部活動外部指導者として必要な学校へ派遣する。 ■全国大会や地方大会に出場する生徒に、参加補助金及び奨励金を支給し生徒・保護者の負担を軽減する。部活動運営に必要な経費の一部を予算化し、生徒・保護者の負担軽減を図る。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■有償ボランティア
10	公民連携・協働事業	-

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11	中学校部活動の入部率	%	目標値	85	85	85	85	
			実績値	80	集計中			
			達成率	94%	-			
	当該指標を選定した理由	部活動の推進について示す指標であるため						
	目標値の設定根拠・算出方法	学校教育の一環として位置づけられている部活動に誰もが有意義に参加できるよう、経済的支援、専門的指導等のサポートを行い、入部率の増加をめざす						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	回	実績	13,860	13,860	13,860		
			令和2年度	8,989	集計中			
			達成率	65%	-			
	当該指標を選定した理由	専門性や指導力の高い外部指導者の学校への派遣により部活動を活性化させるため						
	目標値の設定根拠・算出方法	派遣回数/派遣可能回数						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	体力向上・部活動推進事業	事業番号	038-055
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	決算	決算	決算	予算	予算要求	
事業費 (a)	77,988	82,037	70,132	103,046	105,943	
13 財源内訳						
国支出金	1,958	4,091	4,480	8,756	8,755	
府支出金						
市債						
その他 (ゆめ基金繰入・利子収入)	49,550	44,082	35,205	54,156	69,463	
受益者負担金(使用料、手数料等)						
一般財源	26,480	33,864	30,447	40,134	27,725	

事業費の内訳		(単位：千円)								
主な項目	年度	事業費		うち	主な項目	年度	事業費		うち	
		予算	実績	一般財源			予算	実績	一般財源	
14 事業費内訳	体力向上サポーター等謝礼金	R3	予算	789	69	全国大会近畿大会参加補助金等	R3	予算	5,907	0
		R4	予算	789	69		R4	予算	10,508	0
	体力向上関係	R3	予算	1,272	667	各種団体負担金	R3	予算	5,488	5,488
		R4	予算	1,222	619		R4	予算	5,488	5,488
	部活動外部指導者等謝礼金	R3	予算	35,720	46		R3	予算		
		R4	予算	35,720	46		R4	予算		
	部活動指導員関係	R3	予算	30,082	21,326		R3	予算		
		R4	予算	29,679	20,924		R4	予算		
	部活動関係 (旅費、消耗品)	R3	予算	23,788	12,528		R3	予算		
		R4	予算	22,537	579		R4	予算		

債務負担行為		(単位：千円)	
15 期間	R ~ R	要求額	

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■「堺スポーツチャレンジランキング」による「大縄を使用した運動」の推進 ■全中高 (44校) のうち14校に18名の部活動指導員を配置し、効果検証を継続する。
R4	<ul style="list-style-type: none"> ■部活動推進事業と体力向上推進事業を集約し、「体力向上・部活動推進事業」とする ■「堺スポーツチャレンジランキング」による「大縄を使用した運動」の継続 ■全中高 (44校) のうち十数校に18名の部活動指導員を配置し、効果検証を継続する。
R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■「堺スポーツチャレンジランキング」による「大縄を使用した運動」の継続 ■全中高 (44校) に部活動指導員を1名ずつ配置する。

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■高額な楽器を使用する吹奏楽部等の負担軽減にかかる経費を要求する。 ■部活動の推進と教員の負担軽減のため、引き続き部活動指導員の配置を要求する。 ■全国大会、近畿大会の開催地変更に伴う費用について増要求する。
------------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	子どもの安全安心対策事業	事業番号
担当部署名	教育委員会事務	038-056
	局	部
	学校教育	生徒指導
		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実	
		寄与するKPI	有・無	指標名	⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.6	
		寄与するKPI	有・無	指標名	交通ルールの順守についての啓発、教育			
		現状値	—		目標値	—		
		現状値	—		目標値	—		
2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期末未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	平成 17 年度		終了(予定)年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立小中学校児童生徒、教職員					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> ■教職員の危機管理意識を高め、学校の危機管理体制を充実させる。 ■登下校時及び学校における児童生徒の安全を確保する。 					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■小学校区ごとにPTAや地域人材からなる子どもの安全見まもり隊を組織し、登下校時の見守り活動の実施 ■大阪府警察OBを学校安全指導員として採用し、教職員を対象とする不審者侵入時の対応訓練の実施。また、学校への巡回指導等も実施。 					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	-					
10	公民連携・協働事業	-					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	目標値	実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	目標 終了(予定)年度
11 子どもの安全見まもり隊の総活動人数	人	目標値	—	—	—	—	—	—
		実績値	20,965	22,288	—	—	—	—
		達成率	—	—	—	—	—	—
当該指標を選定した理由		■見守り隊はボランティアで成り立っているため、目標値の設定は行わないが、子どもたちが安心して登下校できるよう家庭、地域の参加をお願いしている。						
目標値の設定根拠・算出方法		■令和元年度まで組織率が100%が続いていたので、令和2年度より総活動人数を指標として示す。						
12 学校安全指導員による不審者対応訓練又は巡回指導の実施率	%	目標値	100	100	100	100	100	100
		実績値	71	83	—	—	—	—
		達成率	71%	83%	—	—	—	—
		当該指標を選定した理由		<ul style="list-style-type: none"> ■幼児児童生徒の安全安心のために全校実施をめざす。 ■安全指導員を活用しない場合でも、所轄の警察官や学校独自の取組を必ず行うようにする。 				
目標値の設定根拠・算出方法		■学校安全指導員の有用性・指導力を高め、全校の活用を推進する。						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	子どもの安全安心対策事業	事業番号	038-056
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	10,181	9,721	9,692	10,298	12,371
13 財 源 内 訳	国支出金			1,507	1,674	2,365
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	10,181	9,721	8,185	8,624	10,006

事業費の内訳		(単位：千円)												
	主な項目	年度		事業費		うち一般財源		主な項目	年度		事業費		うち一般財源	
		R3	予算	4,419	4,419	R3	予算		975	650	R3	予算	3,080	2,054
14 事 業 費 内 訳	学校安全指導員報酬	R3	予算	4,419	4,419	安全見まもり隊保険料	R3	予算	975	650				
		R4	予算	4,419	4,419		R4	予算	3,080	2,054				
	学校安全指導員期末手当	R3	予算	526	526		R3	予算						
		R4	予算	526	526		R4	予算						
	学校安全指導員通勤費・出張旅費	R3	予算	330	330		R3	予算						
		R4	予算	330	330		R4	予算						
	安全見まもり隊消耗品	R3	予算	4,048	2,699		R3	予算						
		R4	予算	3,956	2,637		R4	予算						
	安全見まもり隊印刷製本費	R3	予算	0	0		R3	予算						
		R4	予算	60	40		R4	予算						

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期間	R ~ R		要求額	

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開							
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">R3まで</td> <td>H17見まもり隊活動実施</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>R5以降</td> <td>継続</td> </tr> </table>	R3まで	H17見まもり隊活動実施	R4	継続	R5以降	継続
R3まで	H17見まもり隊活動実施						
R4	継続						
R5以降	継続						

Ⅴ. 要求のポイント

17	<p>要求のポイント</p> <p>学校の危機管理及び子どもの安全確保は、子どもの生命に関わる取組である。子どもの安全見まもり隊による登下校時の子どもの見守り活動は、事件や事故を防ぐうえで重要であることから、地域の子どもたちは地域で守る取組、学校内への不審者侵入に対する指導支援の取組を継続するための経費に加え、見まもり隊の保険料の増額に伴う予算を要求する。</p>
----	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺市教育コミュニティづくり推進事業		事業番号	038-050
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部
			人権教育	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤ICTを最大限活用した教育の推進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	学力調査の堺市の平均値 (全国を100とした場合)		
		寄与するKPI	有	現状値	小6 100.5 中3 95.8(2019年度)	目標値	小6 103.0 中3 100.0(2025年度)
		有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7	
		有	取組	平和、人権、ジェンダー教育の推進			
		有・無	指標名	-			
		無	現状値	-	目標値	-	

2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	平成 12 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■陵西中学校区教育コミュニティづくり推進委員
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■陵西中学校区の住民・児童生徒 (約14,000名)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■教育の今日的課題及び今後の学校教育が志向すべき方向を踏まえ、新しい時代を見据えた人権文化にあふれた教育実践の一環として、学校・家庭・地域の連携のもと、児童生徒の心と体の健康づくりの教育を推進することを目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	■中学校区の学校園が連携し、人権や生命、健康の視点で「総合的な学習の時間」に取り組む。 地域や学校園の特色を生かした文化・スポーツ活動を通じて同じ地域に暮らす子どもどうしの心のきずなを深めるとともに、地域の大人が積極的にかかわり、地域が一体となって子どもを育てる環境をつくる。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■委託業者
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
11 ■陵西フェスタの参加者数 ※陵西フェスタとは、陵西中学校区の子ども、保護者、地域の方が、子どもたちの楽器演奏会や作品展示、人権発表などを通して交流を深め、地域を活性化し教育力を高めるために開催しているイベント。	人	目標値	0	1,000	1,000	1,000		
		実績値	0	0				
		達成率	-	-				
当該指標を選定した理由		事業の目的が、学校・家庭・地域の連携のもと、児童生徒の心と体の健康づくりの教育を推進するため、地域の大人が積極的にかかわり、地域が一体となることであるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		平成28年度の実数をもとにした数値。 令和2年及び3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、陵西フェスタ中止に伴い、目標値を見直し。						
12 ■陵西中学校区教育コミュニティづくり推進委員会の活動を通して校区住民の人権教育や人権課題への関心を深める		定性的な活動目標						
		当該目標を設定した理由	事業の成果を上げるため、陵西中学校区のPTA、学校や保育所園関係者、地元関係者等で組織された団体の活動が重要であるため。					
		目標に対する実績	年度当初実施を予定していた回数をすべて実施し、関心を深めることができた。					

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	堺市教育コミュニティづくり推進事業	事業番号	038-050
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)								
	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
		決算	決算	決算	予算	予算要求				
	事業費 (a)	500	500	500	472	446				
13	財 源 内 訳	国支出金								
		府支出金								
		市債								
		その他 ()								
		受益者負担金(使用料、手数料等)								
		一般財源	500	500	500	472	446			
事業費の内訳		(単位：千円)								
	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14	事 業 費 内 訳	堺市教育コミュニティづくり推進事業 (委託料)		R3	予算	472	472			
				R4	予算	446	446			
				R3	予算					
				R4	予算					
				R3	予算					
				R4	予算					
				R3	予算					
				R4	予算					
		R3	予算							
		R4	予算							
債務負担行為		(単位：千円)								
15	期間	R ~ R			要求額					

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	■ 陵西中学校区で、保育所園・小学校・中学校が連携した取組を実施
	R4	■ 陵西中学校区で、保育所園・小学校・中学校が連携した取組を実施
	R5以降	■ 陵西中学校区で、保育所園・小学校・中学校が連携した取組を実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	■ 事業の継続実施に必要な経費を計上する。
----	---------	-----------------------

令和4年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	多文化共生推進事業	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務局	事業番号	038-051
	局	学校教育部	部
		人権教育課	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(3) 多様性を尊重した教育の推進	
		有	取組の方向性	①個性や違いを理解して自他ともに尊重できる心の育成			
	寄与する KPI	有・無	指標名	「自分にはよいところがある（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）」と答えた児童生徒の割合			
		有	現状値	小6 83.1%、中3 73.2%(2019年度)	目標値	小6 90.0%、中3 90.0%(2025年度)	
	堺市SDGs 未来都市計画	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7	
		有	取組	平和、人権、ジェンダー教育の推進			
	有・無	指標名	—				
	無	現状値	—	目標値	—		

2 関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン		
3 事業開始年度	平成 5 年度	点検年度	令和 7 年度
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)	■学校教育法 ■児童の権利に関する条約		

事業の概要

5 事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁
6 事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立学校園の幼児児童生徒 (約6.3万人)
7 事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■さまざまな国や地域の文化や歴史等について正しく認識し、人権尊重の精神と豊かな国際感覚を備えた人間を育成する。
8 事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	■在日外国人教育研究会と共催し、研修会の開催、ハギハッキョ、ワールドハッキョ、ワールド・子どもの集い、多言語進路ガイダンス等を実施。 ■市立学校園に在籍する海外から帰国して間もない幼児児童生徒及び外国から来日して間もない幼児児童生徒が、学校園生活において十分に能力を発揮できるように、日本語指導センター校での日本語指導をはじめとする自立のための指導を行うため、日本語指導員等を派遣。
9 主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■堺市在日外国人教育研究会
10 公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11 大規模参集型での交流事業への参加幼児児童生徒数	人	目標値	0	1,700	2,200	2,800	
		実績値	0	0			
		達成率	-	-			
当該指標を選定した理由	より多くの児童生徒が互いの国や地域の文化や歴史等について正しく認識し、人権尊重の精神と豊かな国際感覚を備えた人間を育てるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	交流事業へ全学校園から児童生徒が2人ずつ参加した時の合計値。 令和2年及び3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参集での行事中止に伴い、目標値を見直し。						
12 各学校園における交流事業の開催回数	回	実績	実績見込み	目標			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度			
		目標値	50	50	50		
		実績値	34	40			
達成率	68%	80%					
当該指標を選定した理由	人権尊重の精神と豊かな国際感覚を備えた人間を育成するには、児童生徒にその機会を提供する必要があるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	堺市立学校園数×1/3を目標とする。						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	多文化共生推進事業	事業番号	038-051
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13 財源内訳	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	1,280	18,306	15,965	21,065	20,573
	国支出金		5,728	4,493	6,208	6,047
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	1,280	12,578	11,472	14,857	14,526

事業費の内訳

(単位：千円)

14 事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	予算				R3	予算		
	在日外国人教育研究協議会等負担金	R3	予算	1,108	1,108	多文化学習支援員謝礼金	R3	予算	0	0
		R4	予算	1,050	1,050		R4	予算	110	110
	自立支援日本語指導員等謝礼金	R3	予算	18,626	12,418		R3	予算		
		R4	予算	18,143	12,096		R4	予算		
	費用弁償	R3	予算	431	431		R3	予算		
		R4	予算	450	450		R4	予算		
	その他備品購入費	R3	予算	300	300		R3	予算		
		R4	予算	270	270		R4	予算		
	消耗品費	R3	予算	600	600		R3	予算		
		R4	予算	550	550		R4	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	■ 事業見直し
	R4	■ 継続実施
	R5以降	■ 事業見直し

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本語指導センター校を更に充実させるとともに、児童生徒や学校の現状を踏まえ、日本語指導の必要な子どもにきめ細かな指導を行うために指導員派遣事業を拡充する。 ■ 日本語指導サポーター派遣制度を新設し、さらに日本語習得状況に応じたきめ細かな指導形態への対応ができるよう、入り込み指導を必要とする児童生徒等に対する支援体制を構築する。 ■ 学校園における在日外国人・国際理解教育を一層推進するため、児童生徒が外国ルーツの方との出会いを通じ人権感覚を高める事業を構築し、多文化学習支援員を派遣する。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他			
一般会計			事務事業分類	A 一般事務事業		
事務事業名	人権教育推進事業		事業番号	038-059		
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	人権教育	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(3) 多様性を尊重した教育の推進		
		有	取組の方向性	①個性や違いを理解して自他ともに尊重できる心の育成					
		寄与するKPI	有・無	指標名	学力調査の堺市の平均値 (全国を100とした場合)				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	小6 100.5 中3 95.8(2019年度)	目標値	小6 103.0 中3 100.0(2025年度)		
		有	取組	ゴール(4)質の高い教育をみんなに				ターゲット	4.7
		寄与するKPI	有・無	指標名	平和、人権、ジェンダー教育の推進				
		無	現状値	—				目標値	—

2	関連計画						
3	事業開始年度	昭和 40 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 ■ 堺市平和と人権を尊重するまちづくり条例 					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■ 本庁
6	事業の対象 (対象とする人、物、対象数)	■ 堺市立学校園の教職員・幼児児童生徒 (約6.8万人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■ 堺市立学校園における人権教育の推進及び教職員の人権意識の向上を図り、幼児児童生徒の人権感覚の育成をめざす。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ 堺市立学校園の校内研修への指導・助言を行う。 また、堺市人権教育研究会と共催し、人権教育夏期研究会等の開催や各学校園の人権教育主催者会、にんげん学習交流会、平和人権学習交流会等を通じ、人権教育に関する実践の交流を深め、人権教育の深化・充実に努める。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■ 堺市人権教育研究会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
11 人権教育夏期研究会及び人権教育研究会等の参加者数	人	目標値	4,140	3,640	4,500	7,500		
		実績値	223	3,763				
		達成率	5%	103%				
		当該指標を選定した理由	幼児児童生徒の人権感覚の育成を行うには、教職員自身の人権意識の向上を図る必要があるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	目標値は人権教育夏期研究会、人権教育研究大会、人権教育主催者会、堺未来塾の参加者見込み数の合計。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の一部中止により目標値の見直し。							
12 教職員に対する研修機会の提供	校	実績	令和2年度	実績見込み	令和3年度	目標	令和4年度	
		目標値	23	23	23			
		実績値	3	15				
		達成率	13%	65%				
当該指標を選定した理由	学校園における人権教育を担う教員の知的理解や人権感覚の醸成のためには、研修の機会を確保する必要があるため。							
目標値の設定根拠・算出方法	堺市人権教育研究会と連携して実施する研修回数							

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	人権教育推進事業	事業番号	038-059
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	7,886	4,941	2,733	5,005	4,388
		国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	7,886	4,941	2,733	5,005	4,388

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	予算				R3	予算		
		人権教育推進研究会負担金	R3	予算	4,046	4,046	研修会等参加負担金	R3	予算	39	39
			R4	予算	3,823	3,823		R4	予算	30	30
		講師謝礼金	R3	予算	324	324		R3	予算		
			R4	予算	310	310		R4	予算		
		普通旅費	R3	予算	460	460		R3	予算		
			R4	予算	125	125		R4	予算		
		消耗品費	R3	予算	132	132		R3	予算		
			R4	予算	96	96		R4	予算		
		物品等修繕料	R3	予算	4	4		R3	予算		
			R4	予算	4	4		R4	予算		

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R	～	R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	■ 事業の継続実施
	R4	■ 事業の見直し
	R5以降	■ 事業の継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>■ 幼児児童生徒の人権感覚育成のために、子どもたちへの人権教育の担い手である教員の人権感覚を一層醸成し、だれ一人取り残されない教室の実現に向け、研修等の機会を確保するためのICT推進体制を構築する必要がある。</p>
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他	
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	人権学習推進事業	事業番号	038-060
担当部署名	教育委員会事務局	局	学校教育部
		部	人権教育課
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(3) 多様性を尊重した教育の推進	
		有	取組の方向性	①個性や違いを理解して他とともに尊重できる心の育成				
		寄与するKPI	有・無	指標名	学力調査の堺市の平均値 (全国を100とした場合)			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7	
		有	取組	平和、人権、ジェンダー教育の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

事業の概要

2	関連計画	
3	事業開始年度	昭和 46 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 ■ 堺市平和と人権を尊重するまちづくり条例
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■ 本庁
6	事業の対象 (対象とする人、対象数)	■ 堺市立学校園の保護者及び教職員 (約6.8万人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■ 堺市立学校園の保護者及び教職員を対象に、人権及び人権課題についての理解を深め、すべての人の人権が尊重された社会の実現に向け、人権に関する講座の開催や人権啓発冊子の発行などを通じて、人権教育・人権啓発を行う。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人権啓発冊子の発行 年1回発行 ■ 堺市PTA人権研修会 各学校園PTAを対象に年間3回の研修会を開催 ■ 学校園PTA研修への支援 学校園PTA主催の人権研修へ講師を紹介
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■ 委託業者
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績				目標	目標
			令和2年度	実績見込み 令和3年度	令和4年度	令和7年度	点検年度	
11	堺市PTA人権研修会参加者に対するアンケートで人権に対する意識が「深まった」「少し深まった」と回答した人の割合	%	目標値	100 (1,200)	100(1,400)	100(1,400)	100(1,400)	
			実績値	—	97 (900)			
			達成率	—	97%			
	当該指標を選定した理由	事業の主要な目的である保護者への人権啓発の達成度を示している数値であるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	参加者全員が「深まった」「少し深まった」と思えるよう、目標値を100%とする。						
12	活動指標(成果を上げるための手段) 堺市PTA人権研修会への参加者数	人	目標値	450	800(400*2日)	1200 (400*3日)		
			実績値	0	800(400*2日)			
			達成率	0%	100%			
	当該指標を選定した理由	保護者への人権啓発の成果を上げるには、教育委員会が開催する人権研修に、より多く参加してもらう必要があるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市立学校園数×3人×3回を目標値とする。						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	人権学習推進事業	事業番号	038-060
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	3,463	3,425	3,355	3,432	3,305
		国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	3,463	3,425	3,355	3,432	3,305

事業費の内訳		(単位：千円)													
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源		主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
			R3	予算	事業費	うち 一般財源		R3	予算	事業費	うち 一般財源				
		選定委員報酬	R3	予算	21	21				R3	予算				
			R4	予算	62	62				R4	予算				
		人権啓発冊子作成業務委託料	R3	予算	3,350	3,350				R3	予算				
			R4	予算	3,100	3,100				R4	予算				
		人権研修会会場借上料	R3	予算	61	61				R3	予算				
			R4	予算	120	120				R4	予算				
		講師謝礼金	R3	予算	0	0				R3	予算				
			R4	予算	23	23				R4	予算				
			R3	予算						R3	予算				
			R4	予算						R4	予算				

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R ~ R		要 求 額	

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	■ 事業の継続実施
	R4	
	R5以降	■ 事業の継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人権研修については、地域・保護者の人権意識向上のために、より一層内容等を検討し、今日的課題も含めさまざまな人権課題への理解を深め、解決に向けての具体的な行動につないでいけるよう、機会と質の充実が必要。 ■ 幼児児童生徒の人権意識を育成し、いじめ問題をはじめ様々な人権課題を解決するためには、学校園の人権教育のみでは不十分であり、保護者の人権感覚が極めて重要である。そのため、人権教育課では、P T Aを対象として、人権研修の開催（年3回）と人権啓発冊子の全保護者への配付を両輪として、保護者の人権啓発に努めている。 ■ 人権啓発冊子については、配架型の刊行物とは異なり、幼児児童生徒の全家庭に届き、関心のある保護者だけではなく、啓発が特に困難とされる家庭に対しても出来るだけ読んでもらえるよう、可能な限り文字数を減らし、イラストを多用しながら読みやすい冊子づくりに取り組み、好評を得ている。 ■ 啓発冊子については、令和3年度人権啓発関係資料に対する法務大臣表彰の最終選考に選出予定になるなど、大きな関心を持たれている。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	適応指導教室	事業番号
担当部署名	教育委員会事務局	038-065
	局	部
	教育センター	企画相談課
		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.5
			有	取組	不登校、いじめの防止に向けた取組の強化		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン
3	事業開始年度	平成 8 年度
		終了(予定)年度
		令和 - 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■出先機関
6	事業の対象 (対象とする人、対象数)	■堺市内在住の小学4年生から中学3年生までの不登校児童生徒
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■心理的又は情緒的な原因等により、不登校の状態にある児童又は生徒に対し、学校生活への速やかな適応を図るとともに、将来的な社会的自立に向けての支援を行う。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■R3年度 以下の3ヵ所を開室 R4年度 出張適応指導教室の開室日等を増加する予定 ・適応指導教室スプリングポート(堺区錦之町西2丁2-34) ・適応指導教室ユアイルーム(美原区黒山167-9) ・出張適応指導教室(梅教室)(毎週火・金曜日の午前中に開室)南区桃山台2丁1-2(梅文化会館内) ■集団への参加及び対人関係への支援及び指導 ■自立への援助及び支援及び指導 ■学習支援 ■家庭及び学校との連携
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)	—
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標		目標 終了(予定)年度
			令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度		
11	%	目標値	100	100	100	100	100	—	
		実績値	89	90	—	—	—	—	
		達成率	89%	90%	—	—	—	—	
		当該指標を選定した理由	社会的自立や学校に復帰するために通室児童生徒本人が身につけるべき力「学習習慣・学習意欲」と「対人関係能力」を子どもの基礎力とする。子どもの基礎力が高い水準であると、進路選択や社会的自立、学校復帰傾向がみられるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		通室児童生徒に対するアンケート。アンケートより当該項目に対して肯定的な回答を行ったものの割合から算出							
12	%	目標値	80	80	80	80	80	80	
		実績値	76	80	—	—	—	—	
		達成率	95%	100%	—	—	—	—	
		当該指標を選定した理由	通室については、個々の状況に応じて設定をしている。通室設定された通室日に来ることができたかを把握することで通室設定によってかかる子どもたちへの負荷が妥当であったかどうかを検証するため。						
目標値の設定根拠・算出方法		個々の通室設定日に対して通室できた割合の平均							

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	適応指導教室	事業番号	038-065
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	40,472	34,909	35,174	39,892	42,886
13 財 源 内 訳	国支出金			312		
	府支出金					
	市債					
	その他 (施設光熱水費徴収金)	29	19	29	17	28
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	40,443	34,890	34,833	39,875	42,858

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算	R3	予算		R3	予算	R3	予算
14 事 業 費 内 訳	会計年度任用職員報酬 (枠外)	R3	予算	27,702	27,702	適応指導教室警備業務	R3	予算	360	360
		R4	予算	27,881	27,881		R4	予算	360	360
	期末手当 (会計年度任用職員) (枠外)	R3	予算	4,952	4,952	樹木剪定・整枝、薬剤散布業務	R3	予算	297	297
		R4	予算	4,938	4,938		R4	予算	400	400
	謝礼金 (枠)	R3	予算	2,400	2,400	通信運搬費 (枠)	R3	予算	261	261
		R4	予算	3,600	3,600		R4	予算	303	303
	費用弁償 (通勤費) (枠外)	R3	予算	2,028	2,028	会場等借上料 (枠)	R3	予算	124	124
		R4	予算	2,028	2,028		R4	予算	1,405	1,405
	消耗品費 (枠)	R3	予算	492	492	その他	R3	予算	1,276	1,259
		R4	予算	692	692		R4	予算	1,279	1,251

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ H17 合併に伴い、美原町適応指導教室を堺市適応指導教室美原分室として開室 H20 南区に出張適応指導教室開室 H30 「梅教室」の開室を週2回に増加 R1 全適連近畿・中国地域会議開催 R2 感染症対策を徹底し、学校に準じて開室
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施 ■ 出張適応指導教室の開室日等を増加
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個に応じたきめ細かな対応を行い、個別最適化された支援を行いながら、入室してきた不登校状態にある子どもたちが主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう支援を行う。 ■ 出張適応指導教室の開室日等を増加するするとともに、子どものより良い支援へとつながるようサポーター回数についても増加要求する。
----	---------	---